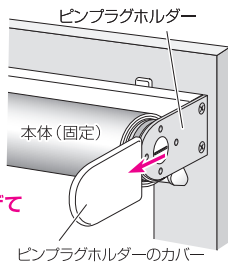
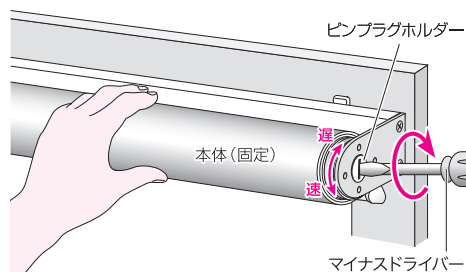


巻き上げスピードの調節方法

- ① ピンプラグホルダーのカバーを手前に引いてはずします。
- ② スクリーンを巻き上げ、**ロールパイプが回らない状態**（左手で本体を持つ）にして**マイナスドライバーをピンプラグホルダーに差し込み、回して調整**してください。



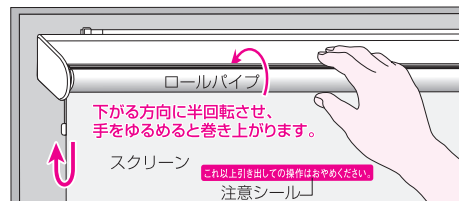
※スクリーンを巻き上げてから調整します。



△注意 ピンプラグホルダーを速削（巻き上げ方向）に回し過ぎると内臓のパネが破損しますので半回転ごとにスクリーンの昇降状態を確認しながら行ってください。

最後まで引き出し、巻き上がらなくなった場合

スクリーンを最後まで引き出し、巻き上がらなくなった場合は、スクリーンが下がる方向にロールパイプを半回転させて巻き上げてください。



△注意 ストップが解除されると急激に巻き上がり思わぬケガや事故の原因になります。ストップの解除が確認されたら必ずロールパイプの回転を止めて、プルボールを持って操作してください。

△ 取り扱い上の注意

- ※スクリーンは、表示サイズ内の高さでご使用ください。（スクリーン上部に貼ってある注意シールが見えるまでスクリーンを引き出さないでください）
- ※本体及びボトムバーを強い力で引っ張ったり、ぶらさがったりしますと変型したり、破損、落下の原因になります。危険ですとおやめください。
- ※スクリーンの近くでストーブ（暖房器具）などを使用しないでください。火災の原因となります。
- ※水滴がスクリーンに直接かかる場所や湿気の多い場所で使用しないでください。故障したり、変色、シミ、カビなど汚れの原因になります。
- ※スクリーンに風が強くあたる時は、スクリーンを巻き上げておいてください。スクリーンがあおられて置物などにあたり破損する恐れがありますので十分お気を付けてください。
- ※定期的に取り付状況を確認し、弱い場合は再取付等を行い、取付強度を上げてください。

△ お手入れ方法の注意

- ※スクリーンは洗えません。スクリーンについたホコリは、はたきや乾いた布で軽く払ってください。水、漂白剤、液体洗剤等は使用しないでください。変質、変色や、シミ、カビなど汚れの原因になります。
- ※スクリーンに殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジンなどの揮発性のあるもので拭いたりしないでください。変質や変色の原因になります。
- ※ボトムバー、プルボールの汚れは中性洗剤液に浸し、軽く絞った布で拭き取った後、乾いた布でからびぎしてください。シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。変質や変色の原因になります。

※製品は予告なく仕様を変更する場合があります

MADE IN CHINA

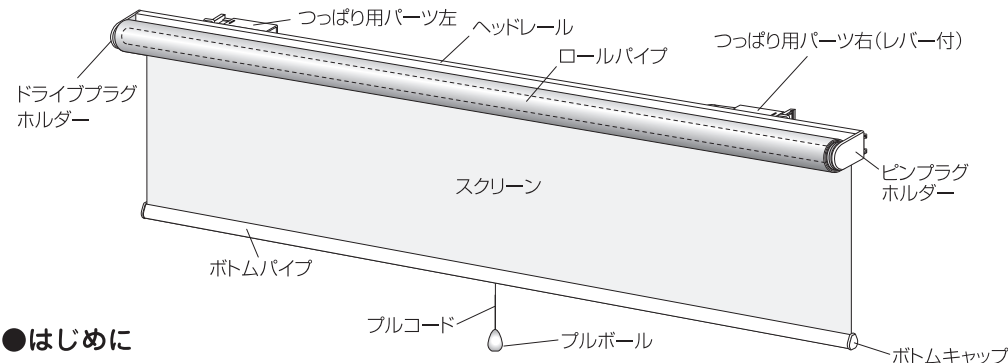
1909

発売元 株式会社フルネス

〒362-0021 埼玉県上尾市原市 1170-1

強力つっぱりロールスクリーン 取付方法及び取扱説明書

このたびは当社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。この取付方法及び取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱いいただきますようお願い致します。そのあと大切に保管し、わからないときは再読しご活用ください。



●はじめに

この製品を取り付けられる前に、梱包されております部分（本体、つっぱり用パーツ右・左、補強用クギ、補助プレート）等をご確認ください。万一不足している場合、もしくは不良品がございましたら、販売店又は発売元までご連絡ください。

●主な材質

スクリーン：ポリエステル
ヘッドレール：アルミニウム
ボトムパイプ：アルミニウム
ロールパイプ：アルミニウム

●部品明細

部品名	姿図	入数
ロールスクリーン本体		1セット
つっぱり用パーツ右(レバー付)		1個
つっぱり用パーツ左		1個
補強用クギ		4本
補助プレート		各1個

※製品は改良の為、仕様を変更する場合がございます。ご了承願います。

●必要工具

ハサミ 金槌
（プルコード調整時使用） （補強用クギ打ち付け時使用）
マイナスドライバー
（スクリーン巻き上げスピード調節及びスクリーンの止まる高さの設定時使用）

△ 取付時の注意

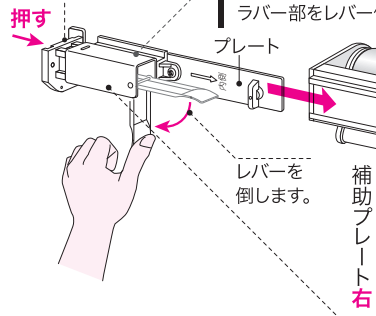
- ※この製品は強力に突っ張って取り付けますので、取り付け面の下地がしっかりしている所（柱等が通っている所）をご確認の上、**必ず水平に固定**し取り付けください。
- ※タイル面等滑りやすい壁面に付ける場合は湿気により滑ることがありますので乾いた布等で必ずお拭きの上、水平に固定し取り付けください。
- ※ボードやベニヤ等、弱い壁への取り付けは壁面を破損したり、落下する恐れがありますのでおやめください。
- ※火気、熱を発生するものそばには取り付けしないでください。熱で燃えたりする恐れがあります。
- ※取り付けに際しては付属部品（本体、つっぱり用パーツ右・左、補強用クギ）等の取扱いには、ケガをしない様十分にお気を付けてください。なお、危険ですので、小さなお子様の手には触れない様ご注意ください。
- ※本体の分解・改造及び部品の改造は、絶対にしないでください。

※取付方法は裏面をご覧ください。

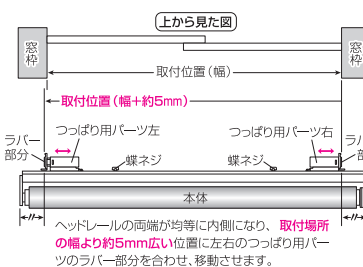
取付方法(各サイズ共通)

1 『本体』に『つっぱり用パーツ』を取り付ける

① つっぱり用パーツ右(レバー付)のレバーを倒す
つっぱり用パーツ右(レバー付)のレバーを倒した後、ラバー部分をレバー側に密着するまで押し込んでください。



④ 蝶ネジを回してしっかり固定する
ヘッドレールに差し込まれた左右のつっぱり用パーツの位置を取付場所に合わせて移動させ、つっぱり用パーツ左右のプレートに付いた蝶ネジを右に回して、左右共にしっかり締め、固定します。



② 補助プレート左右を取り付ける
つっぱり用パーツに補助プレートを突起部分が外側になるように取り付けます。

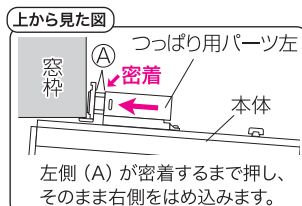
③ つっぱり用パーツ左右をヘッドレールに差し込む
本体の取付位置を決め、つっぱり用パーツの右・左の向きを確認し、ヘッドレール側面の溝に左右共、プレート部分から差し込んでください。

△注意 つっぱり用パーツの向き、及び左右を確認し、入れ間違えないようご注意ください。

裏から見た図

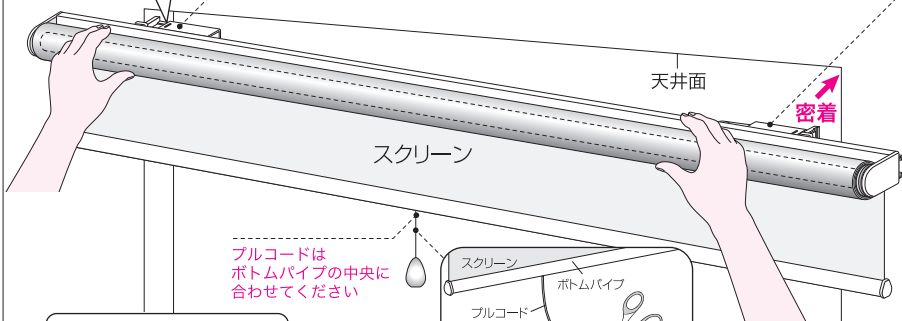
※左右表記が逆になります

2 『窓枠』に『本体』を取り付ける



⑤ つっぱり用パーツ左右を仮止めする
本体の向きを確認した後、本体を両手で持ち、取付場所に仮止めしてください。

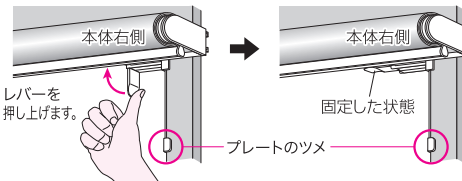
△注意 つっぱり用パーツ左の△部分にすき間が無い事を確認してください。万一、すき間が大きいと突っ張りが弱くなり、落下する恐れがあります。



前から見た図

⑥ つっぱり用パーツ右レバーを押し上げて固定する

仮止めされた本体を水平で、取付位置の天井面及び左右が密着するように調整した後、つっぱり用パーツ右レバーを押し上げてしっかり固定してください。



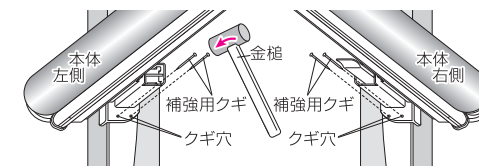
△注意 つっぱり用パーツ右のレバーは必ず押し上げてください。また、つっぱり用パーツ右のレバーは、取外す時以外はふれないでください。万一レバーが下がっていると落下する恐れがあります。

△操作上の注意

※取付場所が水平でない時やプルコードが中央にない状態又は、ボトムパイプやスクリーンを持って操作しますとスクリーンを巻き上げた時、巻きズレが起こりスクリーンにシワやホツレが発生し、本体の故障、破損の原因になる恐れがあります。巻きズレが起きた時は、プルコードが中央にあることを確認した後、必ずプルボールを持ってスクリーンを下げ、ズレを直しながら、ゆっくりと上昇させてください。

落下防止のために

- 定期的に突っ張り状態を確認し、外れやすくなった場合は「取付方法」の④⑤⑥を参照し、再度取り付けを行なって強度を増してください。
- 万一の落下防止に備え、梱包されております補強用クギをつっぱり用パーツ左右に開いているそれぞれ2個のクギ穴に金槌で打ち込んで頂く事をおすすめ致します。 ※外す時は補強クギを抜いてください。

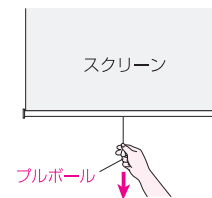


操作方法

操作する前に以下の項目を必ず確認してください。

1. 本体が水平に取り付けられていますか?
2. 本体が落ちないように取り付けられていますか?
3. プルコードがボトムパイプの中央にありますか?

●下降させた位置で停止させる場合



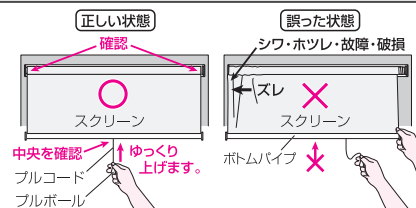
プルボールを持ってスクリーンをゆっくり下げ、目的位置で止めるとスクリーンは止まります。

△注意 ロールスクリーンは、必ず表示サイズ内の高さでご使用ください。注意シール以上引き出して使用しますと故障の原因となります。

●停止した位置から上昇させる場合

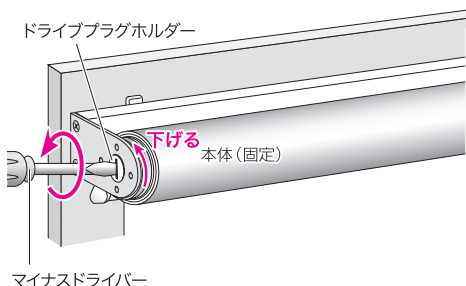
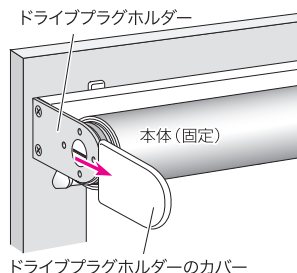


プルボールを持ったまま、スクリーンを少し下げて(約2cm)から手をゆるめる(上げる)とスクリーンは上昇します。上昇の途中で止める場合は停止位置で再度、ゆっくり下げると止まります。



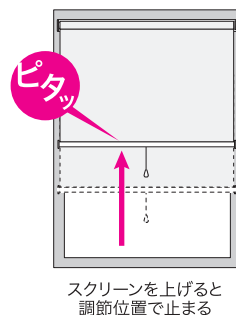
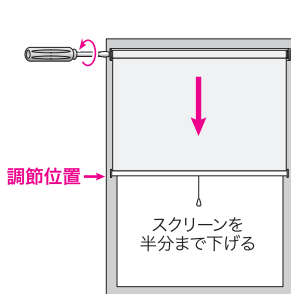
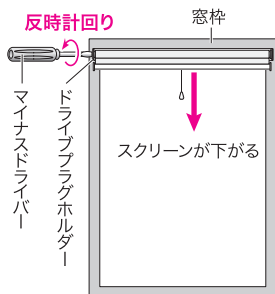
スクリーンの止まる位置の調節が可能

- ① ドライブプラグホルダーのカバーを手前に引いては
ずします。
※スクリーンを完全に巻き上げてから調節します。
- ② スクリーンを巻き上げ、マイナスドライバーをド
ライブプラグホルダーに差し込み、反時計回りに回し
て調節してください。



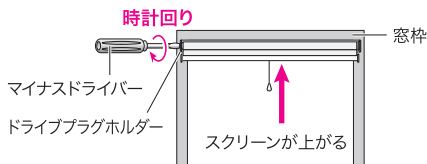
(例) 半分の高さで調節すれば、半分の高さでスクリーンが止まる

- ① スクリーンを全開にした状態
でマイナスドライバーをド
ライブプラグホルダーに差し込
み、回して調節してください。
- ② 調節の位置 (半分) までス
クリーンを下げたら調節終
了です。
- ③ 通常操作でスクリーンを操
作すると調節した位置 (半
分) で止まります。



戻す場合

戻す場合は調節した時と同様にドライブプラグホルダーを逆回転で回して全開状態まで戻して終了です。



MADE IN CHINA

1909